

◎求む奇談!

不可思議な話をしてくれた方に

高額報酬進呈。

ただし審査あり。

すべての物語が
不思議で、魅惑的で、でも人間的で。
引き込まれずにはいられません!
話にご満悦のコレクターも愛おしくて、
審査する助手には舌を巻くばかり。

さらに、この本、
これだけでは終わりません。

奇談蒐集家◎太田忠司 創元推理文庫

「自分の影に刺された男」 私を長年苦しめた“あいつ”の正体は。

「古道具屋の姫君」 鏡に宿る姫君に、私は恋をしたのです。

「不器用な魔術師」 パリで出会ったあの人は、魔術師でした。

「水色の魔人」 少女の死体と入れ替わりに魔人が現れたんだ。

「冬薔薇の館」 薔薇になる機会を逃したわたしの運命は。

「金眼銀眼邪眼」 僕は一晩だけ、夜の子供になったんだ。

「すべては奇談のために」 ……。

【全7編】

最後に待っていた

凍るような驚き!

もう、ふびるっきました。